

CSRマネジメント

基本的な考え方・体制

基本的な考え方

現在、地球上では、感染症の流行や高齢化、技術革新を応用した新たな治療法による医療費の高騰、新興国・開発途上国における医療アクセスの向上など、さまざまな医療課題が存在しています。「持続可能な開発目標(SDGs)」においても、人々の健康や福祉に関する目標が掲げられ、医療課題解決に向けたグローバル企業の取り組みへの期待はますます高まっています。

そうした中で、シスメックスは、グループ企業理念「Sysmex Way」のミッションである「ヘルスケアの進化をデザインする。」に基づき、創業から取り組んできた検体検査分野を事業の核としながら、世界の医療課題解決に貢献することを目指して活動しています。特に、世界190カ国以上の医療機関への製品・サービスの提供を通じ、「健康寿命の延伸」や「持続可能な医療インフラの構築」を実現することを目指しています。

こうした活動を継続していくためには、お客様、従業員、取引先、株主様、社会など関わる全てのステークホルダーと真摯に向き合うことにより、持続可能な経営を実現していくことが重要と考えています。「Sysmex Way」において、それぞれのステークホルダーに対する提供価値を明確にするため行動基準を制定するとともに、全グループ従業員が日々の業務において実践できるよう、浸透活動を行っています。法令遵守はもとより、常に高い倫理観に基づいた事業活動を推進していくことや、地球環境への配慮、多様な人材が働きやすいと感じる職場環境の構築などに取り組むことを大切にしています。

▶ 企業理念および行動基準

▶ シスメックスレポート(シスメックスの価値創造)

CSRマネジメント体制

シスメックスは、CSR活動の企画・立案および推進、社内外へのCSR情報発信などを行う専任部署としてCSR・環境推進部を設置し、取締役 専務執行役員の下、活動を推進しています。

また、持続可能な社会の実現および当社の持続的な成長に向けて、優先的に取り組むべき課題(マテリアリティ)を特定しています。2020年度には、新中期経営計画(2021-2023年度)の策定にあわせて、経済・環境・社会課題の変化を踏まえ、マテリアリティの見直しを行いました。あわせて、マテリアリティに紐づくKPIについても見直しを行い、新たにサステナビリティ目標として設定しました。サステナビリティ目標は、各部門の実行計画や活動に展開されます。また、その進捗は取締役会など経営会議で定期的に報告され、目標の見直しや新たな施策の検討などを行い、PDCAサイクルを回しています。

国連グローバル・コンパクト

シスメックスは、CSRへの取り組みを積極的に推進していくために、2011年2月、「国連グローバル・コンパクト」に署名しました。マテリアリティの特定やCSR活動の推進にあたっては、国連グローバル・コンパクトの10原則や、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」などを参照しています。



国連グローバル・コンパクト



持続可能な開発目標(SDGs)のロゴ

▶ 国連グローバル・コンパクトの10原則 [🔗](#)

CSRマネジメント

マテリアリティとサステナビリティ目標

シスメックスは、持続可能な社会の実現および当社の持続的な成長に向けて、優先的に取り組むべき課題(マテリアリティ)を2017年度に特定しました。2020年度には、新中期経営計画(2021-2023年度)の策定にあわせて、経済・環境・社会課題の変化を踏まえ、マテリアリティの見直しを行いました。あわせて、マテリアリティに紐づくKPIについても見直しを

行い、新たにサステナビリティ目標として設定しました。サステナビリティ目標は、各部門の実行計画や活動に展開されます。また、その進捗は取締役会など経営会議で定期的に報告され、目標の見直しや新たな施策の検討などを行い、PDCAサイクルを回しています。

	マテリアリティ	貢献するSDGs	
社会	製品・サービスを通じた医療課題解決	イノベーションを通じた医療課題解決 医療アクセスの向上	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	責任ある製品・サービスの提供	品質と信頼の追求 サプライチェーンマネジメントの強化	8 働きがいも経済成長も 12 つくも責任 つかう責任
	魅力ある職場の実現	働きやすい職場環境の確保 ダイバーシティ&インクルージョンの推進 人材の育成 健康増進と労働安全の推進	5 ジェンダー平等を促進しよう 8 働きがいも経済成長も
環境	環境への配慮	製品ライフサイクルにおける環境配慮 事業所活動における環境負荷低減	6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくも責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を
ガバナンス	ガバナンスの強化	コーポレート・ガバナンス コンプライアンス リスクマネジメント	10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう

※ 新マテリアリティ:一部表現の変更等を行いました。前回(2017年度)からの大きな変更はありません。

▶ マテリアリティの特定プロセス

サステナビリティ目標の進捗状況

マテリアリティ	貢献するSDGsの目標	KPI	実績				目標		
			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2023年度	2025年度 (エコビジョン)	
製品・サービスを通じた医療課題解決	  	ヘマトロジー市場シェア	ヘマトロジー分野における単年度の機器・試薬・サービスの市場規模に対する連結売上高比率	52.7%	53.8%	54.7%	56.3%	—	
		特許保有件数	特許、実用新案、意匠の保有件数の合計	2,709件	2,987件	3,143件	3,485件	—	
		特許出願件数	特許、実用新案、意匠の出願件数の合計	301件	346件	306件	287件	—	
		がんゲノム医療解析実施件数 ^{※1}	NCCオンコパネルを用いたがんゲノム医療解析実施件数	—	—	—	1.6千件	—	
		OSNA法による乳がん患者検査数	乳がん患者に対してOSNA法(がんリンパ節転移検査システム)を用いた検査の実施件数	—	—	—	46千件	—	
医療アクセスの向上		新興国売上高	新興国の連結売上高	—	—	—	1,220億円	—	
責任ある製品・サービスの提供	 	リコール件数	販売している製品(装置・試薬)を対象として、自主回収・自主改修を実施した件数	—	—	—	4件	—	
		FDA Warning Letter件数	FDA Warning Letterを受けた数	—	—	—	0件	—	
		CSR調査回答率	原材料一次サプライヤー(国内・海外)に対して、CSR調査に回答したサプライヤーの割合(海外関係会社の直サプライヤーは含まない)	81%	84%	85%	89%	90%	
		サプライチェーンマネジメントの強化	サプライヤーに対するトレーニング件数 ^{※2}	—	—	—	2件	6件	
		サプライヤー第三者認証取得率 ^{※2}	原材料一次サプライヤー(国内)の製造や製品品質に関する第三者認証の取得率	—	—	—	86%	—	
魅力ある職場の実現	 	エンゲージメントスコア	企業風土調査結果	72%	—	—	66% (EMEA除く)	75%	
		働きやすい職場環境の確保	離職率 ^{※1}	定年退職を除く、正社員のみ	—	—	—	2.7%	—
			有給休暇取得率 ^{※1}	正社員1人あたりの年次有給休暇取得率	—	—	—	61.3%	—
			男性育児休業取得率 ^{※2}	男性従業員(嘱託・パートタイマー含む)のうち、配偶者が出産した男性従業員に対する育児休業取得者の割合	—	—	—	33.8%	30.0%
		ダイバーシティ&インクルージョンの推進	女性マネジメント比率	課長級以上の女性比率	15.2%	15.2%	15.5%	16.2%	17.0%
			障がい者雇用率 ^{※1}	従業員に占める身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の割合	2.0%	2.2%	2.3%	2.3%	2.4%
		人材の育成	平均教育時間	会社が提供する研修を対象とした従業員1人あたりの平均教育時間(オンライン学習含む)	—	—	—	24.5時間	40.0時間
健康増進と労働安全の推進	年間総労働時間 ^{※1}	正社員1人あたりの年間総労働時間	—	—	—	2,030時間	1,950時間		
	労働災害度数率 ^{※1}	延べ実労働100万時間あたりの死傷者数の割合	—	—	—	0.78	0.58		
	労働災害強度率 ^{※1}	延べ実労働1,000時間あたりの労働損失日数の割合	—	—	—	0.05	0.02		
環境への配慮	   	CO ₂ 排出量の削減率(機器製品使用時) ^{※3}	2016年度を基準年度とする機器1台あたりのCO ₂ 排出量の削減率	12%削減	10%削減	2%削減	8%削減	20%削減	15%削減
		水消費量の削減率(機器製品使用時) ^{※3}	2016年度を基準年度とする機器1台あたりの排水量の削減率	8%削減	2%削減	4%削減	6%削減	10%削減	15%削減
		CO ₂ 排出量の削減率(出荷物流)	2016年度を基準年度とする単体売上高あたりの出荷物流に伴うCO ₂ 排出量の削減率	17%削減	1%増加	17%削減	25%削減	20%削減	15%削減
		包装用資材削減率	2019年度を基準年度とする包装材料総重量の削減率	—	—	—	4%削減	—	—
		CO ₂ 排出量の削減率(事業活動) ^{※3}	2016年度を基準年度とする連結売上高あたりの事業活動に伴うCO ₂ 排出量の削減率	14%削減	17%削減	13%削減	35%削減	40%削減	50%削減
		事業所活動における環境負荷低減	水消費量の削減率(事業活動)	2016年度を基準年度とする連結売上高あたりの事業活動に伴う水使用量の削減率	8%削減	7%削減	6%増加	7%削減	5%削減
	リサイクル率	総廃棄物排出量あたりのリサイクル排出量の割合	89%	76%	67%	78%	85%以上	93%以上	
	総廃棄物削減率	2019年度を基準年度とする連結売上高あたりの事業活動に伴う総廃棄物量の削減率	—	—	—	7%削減	10%削減		
	製商品廃棄額対売上高比率	有効期限切れなどの理由により廃棄となった製商品の廃棄額対売上高比率	—	—	—	0.6%	—		
ガバナンスの強化	  	コーポレート・ガバナンス	投資家アナリストミーティング数 ^{※2}	機関投資家・証券会社アナリストとのミーティング実施社数	—	—	—	506社	—
		コンプライアンス	内部通報件数	内部通報受付件数	32件	14件	11件	12件	—
			倫理違反件数	法律に違反した事象、およびグローバルコンプライアンスコード違反があったとして制裁処分が科された事象の合計件数	—	9件	7件	5件	—
		リスクマネジメント	情報リテラシー教育受講者数 ^{※1}	情報セキュリティに関するトレーニングの受講者数(延べ)	—	—	—	2,720名	—
		災害対応訓練参加率 ^{※1}	災害等を想定した安否確認ツールを用いた訓練参加率(長期休業者含む)	—	—	—	98.7%	—	

※1 対象:国内グループ会社 ※2 対象:シスメックス株式会社単体 ※3 過去の開示データから一部修正

2021年度からの新規KPI